

～給水車を導入しました～

西佐賀水道企業団では昨今の自然災害や配水管漏水事故による断水時に迅速に応急給水を行える施設や設備の構築を目指して、平成30年度より耐震化計画の一環として応急給水施設整備事業を行います。この事業の先がけとして、今回新たに給水車を導入しました。

この給水車は緊急時の応急給水として、給水袋に補給できるだけでなく、公共施設や病院などに設けてある高所の貯水槽などにも加圧して補給できるなど、様々な装備を兼ね備えています。

これにより従来の積載用1m³タンクと併用して、より幅広い給水活動を実施できるようになりました。耐震化計画では今後も非常用造水器の導入や応急給水拠点の整備等に努め、災害に強い水道を構築していきます。



タンク容量は3,000リットルです。災害時に必要とされる1人1日当たりの水は3リットルとされていますので、約1,000人分に相当します。
佐賀県内の水道事業体が保有する給水車としては最大の容量を誇ります。



同時に複数の給水栓を使用できますので、迅速かつ様々な形の容器に補給が可能です。



飲用水ですので衛生面を考慮し、水質を保持出来るようにタンクはステンレスで製作しています。